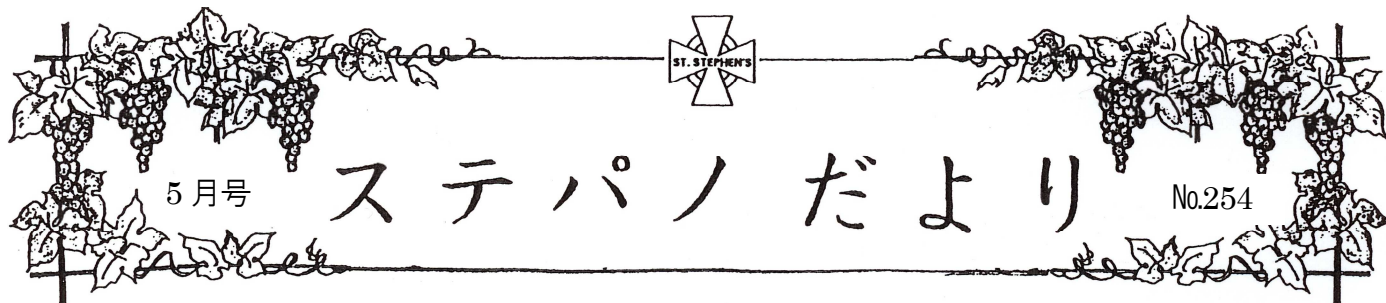




5月号

ステパノだより

No.254

今月の聖句

『何事にも時があり 天の下の出来事には』

全て定められた時がある。』

コヘレトの言葉 第3章1節

◎5月の予定

- 7日(金) 校内研修会
- 11日(火) 春の遠足(小)
- 13日(木) 春の遠足(中) 予備日(小)
- 14日(金) 聖書教室
- 19日(水) 内科検診
- 20日(木) 心臓病検診(小一・中一)
- 21日(金) 教務委員会
- 24日(月) 理事会・評議員会
- 25日(火) 尿検査(一次) 6/18(金)まで
- 26日(水) 眼科検診
- 27日(木) 学力学習状況調査(小六・中三)
- 28日(金) 教職員協議会

◎6月の予定

- 1日(火) 校内研修会
- 1日(火) ~2日(水) 中間試験(中)
- 3日(木) 歯科検診
- 8日(火) 聖書教室、尿検査(二次)
- 9日(水) 体験(転入)① 11日まで



新入生歓迎会

小中それぞれ新一年生を迎え、新入生歓迎会を行いました。ドキドキとワクワクの入り混じる中楽しい交わりのひと時となったようです。



中学校 ジェスチャーで懇親中

小学校 インタビュー中...



◎今月の行事から

小学校 春の遠足 5月11日(火)

(予備日 13日)

学校から徒歩で行く、まさに遠足です。1・2年生は高田公園に出かけます。皆、お弁当をもって友達とのお出かけを楽しみにしています。3・4年生は県立大磯城山公園・大磯町郷土資料館です。到着までの道沿いには畑が多くあり、地域の様子を感じながら歩いていきたいと思います。5・6年生は旧吉田茂邸・大磯運動公園を目的地としています。大磯の偉人吉田茂元首相が住んでいた広い邸内と庭園を見学して、肌で歴史を感じたいと思います。吉田茂が大事にしていたバラ園も楽しみます。

中学校 春の遠足 5月13日(木)

学校をスタートしてクラスごとのコースを歩きます。例年とは違う形ですが、クラスの結びつきを強めて充実した一日にしたいと思います。クラスの個性があらわれる遠足に期待します。

今回は学年ごとで大磯町内を中心に活動する予定です。十分に感染症対策をし、出かけたいと思いますので、ご協力よろしくお願いします。なお、5月18日に予定しておりました授業参観と保護者会は中止とさせていただきます。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



学園長 小川 正夫

私学は、皆さんが、この学校は私達の学校、大切な私の子どもが通う学校という想いで、生活環境や教育環境を少しでも向上改善することを願ってご支援くださる中で成長していくことができます。

聖ステパノ学園は眼下に相模湾の大海原が広がる、豊かな森の緑に包まれる小高い丘の上にあり、見上げる碧の天空は三六〇度見通すことができ、遠くに富士の高嶺を望む自然の中にある一学年一学級の小・中学校です。

大磯の町で、優しい心を育む学校といえ、聖ステパノ学園と言われています。

優しい心は優しい心で育まれるといいますが、さて、心ってどこにあるのでしょうか。

たしかに心という文字は心臓の形に似ていますが、嬉しいことがあると温かい気持ちになり、ハートの形で表現してみたり、辛いことや心配なことがあると心臓や胸が重苦しくなるので心臓の中にあるのでしょうか。いいえ心は心臓の中を探してもないようです。

子ども達はだれもが心を持っていると応えてくれますが、どこにあるのかと聞くと、胸に手を当てたり頭を抑えたりして首をかしげます。あるけど見せられないといいます。

だいぶ前のことですが、問題行動を重ねることが多い子に、ある時、心を入れ替えてみ

てはと声をかけたところ、心なんて入れ替えられませんが、という応えが返ってきたことがあります。成程そういう言い方もあるのかと思いつつ、考えてみれば、昔から多くの人達が身体の中のどこに心があるのかを探してみても見つかりませんでした。

人間は感情の動物という言葉が記憶にありますが、感情という二つの文字にもちゃんと心という文字が組み込まれています。然しどこに収まっているのかわかりません。

実は、私も心ってどこにあるだろうと何度も考えていましたが、よく考えてみると、探す場所を間違っていたことに気が付きました。身体の中に納まっているものではなく、心は行いの中に現れて見えてくるものでした。

目にしたり耳にしたりすることの中にも感じ取ることができ、自分の前にいる相手の中に見出すこともあります。

物の見方、考え方で、とらえ方によっては世のなかには悪がはびこっているようにも見えますが、立ち位置を変えてみると、優しさが満ち溢れているようにも感じます。人の優しさに触れると自分自身も優しい気持ちになり、相手を尊敬し、謙虚な気持ちになることがたくさんあります。

私は新任教諭の頃、穏やかで魅力的な校医さんで、のちに聖路加国際病院院長になられた日野原重明先生から、永い間本当に多くの教訓を戴き、憧れと共に尊敬しておりました。百歳を超えてもなお、聖路加国際病院を全

ての面で日本一にするのが私の夢だと語り、次の時代を担う子ども達に命の大切さを教えることが私の使命だと話しておられました。

優しい心の出会いを育むには優しい心の取り組みが大切だといわれますが、日野原先生は具体的にこんな話をなさいました。

周りの人達が明るい気持ちになるには、話す声の調子を弾んだ笑顔にすること。低い声で呟くように、もそもそ、ぶつぶつではなく音階、ドレミファソラシドの「ラ」の高さで話すのが良い、オーケストラの音合わせも「ラ」ですから、はつきりと「ラ」の音で会話し、人に接すると周りが明るくなりますと話しておられました。

日野原先生ご自身が多くの影響を受け、厚く尊敬していたウィリアム・オスラー先生から教わったという言葉もあります。もとはとえば聖路加看護大学の学生に、看護師はどんな徳を心得ていたらよいかという講義で話されたことなのですが、大きな影響力を持つ教師や親にも言えることだと話しておられました。それは、人に接するときには、①機転が利くこと②こざっぱりしていること③口数が少ないこと④思いやりの心があること⑤優しく柔和であること⑥快活で明るいこと⑦これら六つの要素を繋ぐ慈愛の心を持つこと、年齢を重ねても、いつまでも夢を持ち続けることが、心を育むことになるのだと教えてくれます。

自制心

中学校教頭（統括） 佐藤 紀明

先月の原稿に、『疾風知勁草』と書きました。理想とする姿に自らを近づけるために、まず自制心をしっかりと持つべきだと考えます。自制心とは、自分自身の感情や欲望を抑えたり、コントロールする気持ちや精神力です。空手道では、『克己』として心得てきました。同じような意味をもつ言葉ですが、克己心は打ち克つ、自制心は制御すると理解しています。

【自制心がある人の特徴】

- ・ 集中力がある、メンタルが強い、真面目
- ・ 計画性がある、目標達成意識が強い
- ・ 責任感が強い、最後まで諦めない
- ・ 健康維持、ストレスケアへの意識が強い
- ・ 相手のために行動できる、ブレない
- ・トラブルが起きても冷静に対応する
- ・ 人から指摘されてもしっかり受け止める

【自制心がない人の特徴】

- ・ 感情のコントロールが苦手、感情的になる
 - ・ 物事が長続きしなく三日坊主、継続力ない
 - ・ 時間を守らない、規則にルーズ、約束破る
 - ・ 浪費癖がある、衝動買い、思い付きで行動
 - ・ コミュニケーションが苦手、他力本願
 - ・ 自分が楽することを考える、すぐにサボる
 - ・ 言い訳をする、無計画、できないが口癖
 - ・ 自分の話ばかりして、人の話を聞かない
- 残念ながら後者に当てはまる人が多いです。

スタンフォード大学付属幼稚園で行われた「マシユマロ・テスト」をご存知でしょうか。

四歳の子ども三人を大人のいない部屋に連れて行き、机の上にはマシユマロを置きます。

15分して戻った時にマシユマロがあったら、マシユマロをもう一つあげる約束をします。

結果、三人に二人は我慢できずにマシユマロを食べてしまいます。マシユマロを目の前に

して15分待つのは、なかなか厳しい条件です。さて、その子達の15年後を追跡調査した結果、

違いが生まれていました。15分間マシユマロを我慢できた子は、周囲の人達と良好な関係を築き、成績も良く、将来の見通しが立って

いて幸せでした。一方、すぐ食べてしまった子は成績が伸び悩み、好きなことに打ち込め

ず、周りの人との関係が上手く築けないなど問題を抱えていました。別の国で同じように

実験しても、同様の結果になったそうです。この結果からわかるように、人生の成功に

おいて最も重要な要素は自制心だといえます。マシユマロを我慢できた子は、後の楽しみの

ために、目の先の楽しみを我慢することができました。その自制心が人生の様々な岐路で、

大いに役立ったことでしょう。自制心が重要であることは、大人は経験でわかっています。

約束を守る、困難な局面でも投げ出さない。自制心がしっかりとあると、誠実な印象を周囲

に与えるので、人間関係が良好になります。人から信頼され、心身も健康でいられるので、

自制心によるメリットはとても大きいです。

自制心についてこの原稿を書いている時、科学雑誌で驚くべき実験結果を目にしました。

『ヨーロッパコウイカに、自制心があつた！』後からものと良い餌をもらうために、目の前の餌を我慢したという「マシユマロ・テスト」

の水中版です。2分以上我慢できたそうです。人間やチンパンジーなど霊長類以外で自制心

が確認された結果は、初めてとのこと。イカにできて、人間ができない訳ありません。

自制心が欠如する原因は三つあるとのこと。子どもの頃に我慢することが多かった

・ 要領が良くて努力せず、物事が上手くいく

・ 欲求を強く感じ、ストレスが溜まっている

この三つを意識、改善すれば欠如は防げます。一方で、自制心は鍛えることができるのです。

・ 後回しにせず何でもすぐにやる

・ スケジュールを立てて行動する

・ 簡単にできる目標を立てて達成していく

・ 決断する前に一歩立ち止まって考える

・ 新しいことにチャレンジして継続する

・ 自制心のある人の側にいる

・ 周囲の人に宣言する

・ 規則正しい生活を習慣化する

・ 部屋を綺麗にする習慣をつける

・ 自制しなかった結果を想定する

・ 気を紛らわす方法を身につける

人間が他の動物と違う点は、誘惑や欲望と戦って自分に打ち克つことができることです。コロナ禍であってもなくても、自制心を持つことは大切です、そうありたいと願っています。

春の座談会

子どもを見守り、
力を引き出す取り組み

今回は小学校6年生クラスの
取り組みを紹介してもらい
ました。

《出席者》

澤邊教諭（六年担任）

根田教諭（四年時副担任）

飯田裕教諭（五年時副担任）

※新年度が始まりました。最高学年に進級した六年生はいかがですか。

（澤邊）元氣です。ステパノタイムでは三年生以上が集まりますが、しつかりやっています。六年生っぽいなと思います。

※毎年、五年生が中心になって三月に行う「六年生を送る会」で、今回の取り組みがとてもよかったという評判を聞きました。

（澤邊）コロナ禍で、一堂に会することができなかつたので、このクラスでオリジナルの映像を撮り、それをベースに各学年をリモートでつなぎ、宝探しを行うという試みでした。低学年と六年生がグループになり、他学年もクイズをして ZOOM で実況しながら楽しみました。

※そのクイズの内容を考え、実況も澤邊クラスの子どもたちがおこなった？

（澤邊）そうですね。教員が最小限の指示は出したのですが、自分たちで分担し、全部考えていました。四年生にもクイズを考えてもらって、学年相応のクイズ、一年生は一年生

でもわかりそうな、ひらめきクイズとか工夫していました。小学生全体で楽しめる時間になりました。

※企画をした澤邊クラスの子どもの反応はどうでしたか。

（飯田）やり遂げた感があつたんじゃないかな。

（澤邊）それまで大変そうだったり、若干モメたりしていたんですけど、終わった後はみんないい顔してました。先生方にもいっぱい褒められたし、六年生がすごく喜んでくれたので。

（飯田）長谷川教頭先生が、わざわざ教室までお礼に来て下さいました。コロナの中でもできることを考えてくれて、六年生が喜んでいたらよって伝えてくださって。

※このクラスは去年のステパノ国際映画祭の時にも、自分たちで作ったという動画を発表してくれました。

（澤邊）準備の時、私は家の都合で学校に來られなかつたのです。カメラ、サーフェス（タブレット）など子どもにも渡し、最低限の扱い方だけ説明して、あとは、副担任の飯田先生にお願いした次第です。

（飯田）とりあえず、衣装、小道具、撮影、物語を書く人というグループに分けたところ、子どもたちはどんどん自主的に動いて、私はほとんど見てるだけ。自分たちで考えて、自分たちが撮影をしている。走るシーンだけは危ないので、私が撮りました。

※完成度が高くて、中学生も、「すごいね」と言っていました。

（澤邊）お互い声をかけあいます。まとめ役みたいな人が言ったことに対して、こっちのほうがいいでしょ、それちよつと違ってない？みたいな意見がどんどん出る。

（飯田）そうですね。遠慮がない。

（澤邊）お互いに的を射ていることだから、納得して進められる。結構おとなしい人も言いますよね、意見。

（根田）みんな仲がいいんですね。だからそれぞれにアイデアを言ったり、こうしたいって言える。みんな優しくして真面目。ステパノの子はみんな優しいけど。

（澤邊）転校生や体験学習の人が来ても、自然に入れる。受け入れ態勢がいい。

（根田）すぐ話しかけたりできる。

（澤邊）低学年の時の担任が長谷川先生で、感じのいい雰囲気を受け入れ態勢があつて、それからいっぱい転校生とか入ってきたけど、そこは崩れていない。やっぱりステパノの大事などころですね。親切にするとか、ひとが困っていたら助けてあげたりとか、そういうのが身についている。

（飯田）私は、子どもたちがホッとできる、絶対的な安心感があると思う。担任の先生に受け入れられている。だめ、って言われぬ。帰りの会に「いいところ探し」っていうのがあるんですよ。日直さんが必ず、誰かのいいところを言つて、今度は、ほかの子どもたちが

三人、日直さんのいいところを言う。毎日それをやっているんです。みんないっぱい手を上げるんですよ。全然恥ずかしがらずに。

(澤邊) 米原先生が、以前ご自分のクラスでやっていたのを見て、いいなあと思って、去年の二学期から始めたんです。自己肯定感的なものって、とても大事。この年頃の子ども達はけっこう、メンタルが影響することが多いんです。だから、友達に自分のいいところを見てもらえる安心感、それが続けば大丈夫かなって思ってたんです。最初は表現が苦手な人はうまく言えなかったりしましたけど、二周目からは言えるようになりました。※さつき出ましたけど、「だめって言わない」というのは具体的にはどういうことですか。

(根田) 四年生の時に、自分たちでストーリーを考えて、漫画を描いていたんです。連載とかあるんですよ。それで雑誌みたいにして、それをみんなが回し読みして。で、読んだらなんだか自分でも描けそうだな、描かせてほしいっていう人がどんどん増えてくる。澤邊先生は紙が欲しいという人に、いいよ、って無限にあげるわけです。ふつうの担任だったら、もういいかげんにしときなさいって、ひとり何枚までとか、決めちゃったりしそうなところなんですけど、そんなこと言わないで、もっと欲しいって言われたらどんどんあげる。そうすると最初は読めないようなものでも、だんだん絵がしっかりして、ストーリーもできてキャラクターがはっきりしてきたりして

面白いモノができて、しまいいは隣のクラスの子が自分も描きたいって。それも受け入れるんですね。先生の中にも愛読者がいて、クラスの誰かが返却簿みたいなのを作ってた。はい、咲間先生返却って書いてある。子どもたちがやりたいって言ったことを、無理、とかだめとか言わない。やっているうちに自分もできる、できたって何回か繰り返されて自信をつけるみたいな基本的な考えがあるなって感じます。

※なんでも受け入れる、そして前に進む、っていうことです。

(根田) 四年の時にステパノまつりで映画館をやりました。台本を書いてくるよっていう人が三人いて、三本立て。自分が担任だったから、一本にしといたら？ってなっちゃうんだけど、澤邊先生はその三人の台本作家の全部を受け入れて、短い時間の中で三本撮って。あれもやりたいこれもやりたい、ってどんどんアイデアが出てきたら、じゃそれもいいねって受け入れてやってく。先生すごく大変だと思うんですが。

(澤邊) とりあえず聞いて、せいぜいちょっと待って、考えてみるくらいは言いますけど。その場でNOっていうのは言ってないですね。言ったらそこで終わってしまうけれど、とりあえずつなげとけば、あとでゆっくり考えてできるし、ちょっと待ってって言われた人たちは、じゃこうしたらできるんじゃないかと考える。映画の話だと、一本じゃないとでき

ないっていう話の時に、短いなら三本できるんじゃないかっていう意見が出てくる、そういう風につながっていいアイデアが出やすいかと思うんです。このクラスを担当して五年目ですが、小さい頃は、そんなことするのかという、びっくりするくらい意外なことがよくありました。でも裏返すとそれだけ発想力があるというか、人が思いつかないようなことができるということですよ。多分この人たちは、内に持っている考えを出させた方がいいんじゃないかと気づきました。

※さらに子どもが伸びていくためには？

(澤邊) この先社会に出て行くと、物事を行うにはいろんな兼ね合いがあるから、制約の中でどれだけいいアイデアが生かせるか、ということかな。その壁をどう乗り越えるか。そこかもしれません。

(飯田) 六年生を送る会の後に書いてきた日記の中に「人を喜ばせることがこんなにうれしいと思わなかった」とあって。泣きそうになりました。ステパノっ子だなあ、って思います。

※それぞれの発想力や個性、やる気を否定せず成長を見守るステパノの教育の一コマです。他の人の喜びを自分の喜びと感じられる人に育ってほしいと願っています。



しっぽの とりかた ⇒

1. なまえ：E.Y.
2. 誕生日：1月18日
3. 好きな食べ物
：ごはん、ポテト、パン
4. ステパノで楽しみな事
：プール



たくさん しっぽが とれるかな？



いいお天気にも恵まれました



1. なまえ：M.M.
2. 誕生日：9月13日
3. 好きな食べ物：りんご
4. ステパノで楽しみな事
：にわとりにえさをあげる
こと。



1. なまえ：K.I.
2. 誕生日：12月20日
3. 好きな食べ物：アイス
4. ステパノで楽しみな事
：おともだちとあそぶ



1. なまえ：K.S.
2. 誕生日：5月23日
3. 好きな食べ物：おすし
4. ステパノで楽しみな事
：としょしつ

1. なまえ：N.T.
2. 誕生日：2月19日
3. 好きな食べ物
：ラーメンです。
4. ステパノで楽しみな事
：たいいくです。



1. なまえ：S.J.
2. 誕生日：10月5日
3. 好きな食べ物：やさい
4. ステパノで楽しみな事
：ぜんぶ楽しみです。
きゅうしょくも楽しみです。

1. なまえ：N.H.
2. 誕生日：1月8日
3. 好きな食べ物
：ハンバーグ、いちご
4. ステパノで楽しみな事
：おともだちとおべんきょ
うすること。

「小学校」4月22日(木)新入生歓迎会が行われました。1年生は、6年生にインタビューを受けたり、楽しく「しっぽとり」をしたりしました。1年生のインタビューより抜粋です。

【中学校】

「中学生になったよ!」

中学一年生の日記から

四月七日 (水)

今日は、第62回中学校入学式がありました。なんと、ついに長ズボンになりました。久しぶりにみんなに会いました。新たな学校生活が楽しみです。

(中1 OT)

四月九日 (金)

昨日から中学生としての授業が始まりました。教科書に印刷されている文字を見ると、小学生のものより小さく感じました。内容も難しくなってくるので、頑張って勉強しようと思います。

(中1 KH)

四月十三日 (火)

今日は、三、四時間目に、ホールで新入生歓迎会をしました。本来は午前中いっぱい湘南平でやる予定でしたが、雨のためホールでやりました。まず、自己紹介をやりました。次にジェスチャー伝言ゲームをしました。とても面白かったです。明日の中学校生活も楽しみにしています。

(中1 KR)

四月二十二日 (木)

今日私は陸上部に仮入部しました。たまには長距離を、と思い、ジョグ15分を選びました。最初の5分間は何ともなかったのです

が、10分頃からキツくなり、終わったときにはフラフラでした。途中から走ることを意識しすぎて、自分が今何をやっているのかわからなくなりました。でも、これを他の人より先に経験できて良かったです。(中1 SH)

四月二十七日 (火)

今日は、社会がありました。社会は、前から好きな科目でした。栗原先生が教えてくださる社会は、前よりもっとおもしろくて楽しいです。うれしかったのは、食べ物の画像やハリーポッターの聖地の画像を見せてくださった、ホビットのロケ地もありました。とても勉強が楽しいです。

(中1 MA)



国語の学習…「春を見つけた」

―季節感を詩や俳句、短歌で表現しよう―

桜の雨がふってきた

ひらひらふわふわ

ふってきた

ふんわり手のひらのせてみた

春だと感じて

ほほえんだ

(中1 OH)

山道でけむしミサイルふってくる

注「けむし」は夏の季語です。(中1 NR)

今日の日記

今日の空はくもってた

ぽつぽつぽつぽつ

小雨が降っていた

春の季節の雨はちよつとふしぎな感じ

空気がもやっとしてて

自然の香りがすーっと入ってきた

あしたはどんな

天気なんだろう

(中2 OM)

四月の校庭の

私がいた

よく見上げると

桜はほぼ落ちてた

近くの公園の

私もいた

よく見通すと

桜はほぼ緑と化した

(中2 KF)

さあ来たぞ学年変わる新学期

(中2 AA)

箱根道遅桜たちおでむかえ

(中2 TY)

透明な壁の向こうは絵画のよう

(中3 YS)

富士山もそろそろ春かと雪を脱ぐ

(中3 FY)



二〇二一年は、本校創立者であり初代校長である澤田美喜先生の生誕百二十年にあたる年です。今号は、一冊の本を通して、改めて先生の思いと向き合いたいと思います。

『名もなき花たちと 戦争混血孤児の家』



「エリザベス・サンダース・ホーム」
小手毬るい・著
二〇一九年 原書房

澤田美喜先生の物語は、自著も含め、これまでも多く紹介されてきましたが、本書は、若い読者に向けられており、幼少期からの美喜先生の生涯が、読み仮名付きの平易な文体で書かれています。

エリザベス・サンダース・ホームが正式に認められた一九四八年、美喜先生は四十六歳。その五年後に聖ステパノ学園小学校を創立し、続けて中学校も設立、他界される七十八歳までの約三十三年間で、二千人の孤児の「ママちゃま」として文字通り東奔西走されました。さまざまな親子に出会い、幾多の困難な状況と対峙した日々を、「花束をつくりつづけて」きたと、晩年の美喜先生は表されています。出会った一人一人を花にたとえ、「道のかたわらに淋しく咲いていた花、誰か知らぬ間に

そつとおいていった花、息絶え絶えに枯れかかっていた弱い花」や、「太陽の光のなかに生き生きと咲いていた花」、一つ一つを「むねにだきしめ頬ずりをして一つの束にあつめて美しい花束」を作り、それらの美しく生き返った「名もないような花達」の存在が大きな喜びとなり、希望だったと記されています。

「なかまを大切にする。みんなで助けあう。お互いの足りないところをおぎないあう。高学年の子は、低学年の子のめんどうを見てあげる」、そして「みんなでなかよく、一緒に成長していく」という創立当時の学校目標や、湘南平への遠足など、体験学習を大切にする当時の様子は、現在の本校の姿と重なります。

本書で紹介される美喜先生の言葉は力強く、子ども達だけでなく、私達保護者にも、年齢に関わらず新しい挑戦の可能性を示してくださいます。

「人生は、自分の手で、どんな色にも塗りかえられるものである。」

「苦しみに対して、正面から、立ちむかっている。いきなさい。背中を見せて苦しみから逃げたなら、その苦しみは、どこまでも追いかけてくるのよ。」

そして、生きていくために何よりも必要なこととして、「他人から愛され」、「喜ばれる存在」になることを説いておられます。

強さと愛に生きた美喜先生のお誕生日（九月十九日）に、私達SAは、敬愛の念で今年もレリーフに献花し、お祈りを捧げます。

STEPHEN'S NEWS

【公用車 寄贈】

井口一世理事より武蔵野銀行様を通して頂戴した御寄付で、聖ステパノ学園の公用車を購入いたしました。大変、重宝させて頂いています。ありがとうございます。



【編集後記】

岩崎山の緑が美しい季節となりました。コロナ禍の中ですが、今日も聖ステパノ学園では青い空と緑の木々の中、ステパノっ子たちの元気な声が響いています。

歓迎会で楽しそうにインタビューに答えていた、かわいらしい一年生達もますます学校に慣れてきた様子で、これからが楽しみです。

(え)

代表者 学園長 小川 正夫
発行者 聖ステパノ学園小学校・中学校
ステパノだより編集委員会

〒255-0003 神奈川県中郡大磯町大磯868

TEL 0463-61-1298
FAX 0463-61-9739

http://www.stephen-oiso.ed.jp

二〇二一年五月十三日（木）発行 第254号